

癌化学療法プロトコール

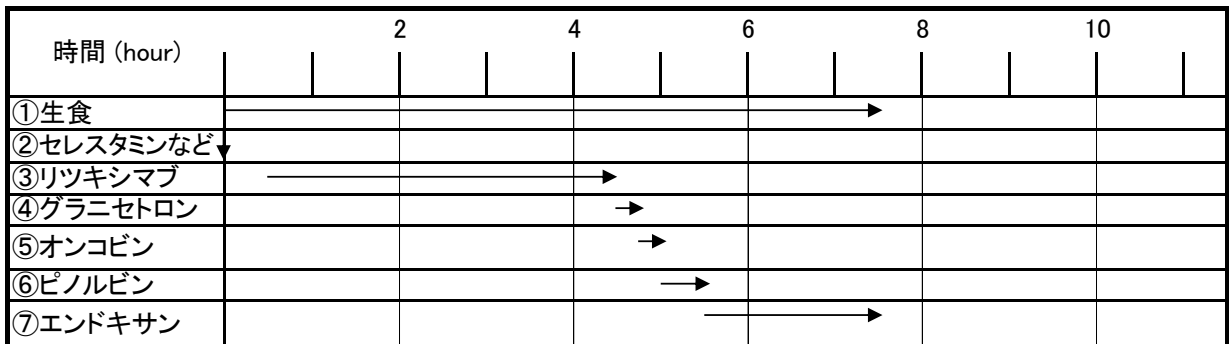
氏名: _____
 ID: _____
 体表面積: _____ m² 体重: _____ kg

プロトコール名 **R-THP-COP療法**
 対象疾患 CD20陽性の悪性リンパ腫
 診療科 血液内科
 施用者 _____

1 投与薬剤名、投与量、投与方法

	投与薬剤名	投与量	投与可能量 (mg)	溶解、希釈液	投与方法
①	生食	500mL			血管確保とフラッシュ用
②	セレスタミン	1錠			リツキシマブ投与の30分前に内服
	カロナール	2錠			
③	リツキシマブ	375mg/m ²		生食で10倍希釈	特記事項参照
④	グラニセトロン バッグ	3mg/50mL (1袋)			15分点滴
⑤	オンコピン	1.4mg/m ²		生食50mL	15分点滴(最大2mg/body/回まで)
⑥	ピノルビン	50mg/m ²		生食100mL	30分点滴
⑦	エンドキサン	750mg/m ²		生食500mL	2時間点滴
	プレドニン	100mg/body		内服	5日間連日内服

2 投与方法の図式



3 投与スケジュール

3週間毎に6~8回施用する。

4 特記事項

- ・ リツキシマブの初回は50mL/hで1時間、100mL/hで1時間、残量を200mL/hで点滴を行う。2回目以降は医師の判断において100mL/hから開始できる。
- ・ リツキシマブ点滴時は30分毎にバイタルを確認する。
- ・ オンコピンは1回の最大投与量は2mg/bodyまで。
- ・ ピノルビン総投与量が950mg/m²を超えるとうっ血性心不全を起こすことが多くなる。
- ・ オンコピン、ピノルビンは壊死性抗がん剤なので、血管外漏出に注意し、観察を行うこと。
- ・